



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 サカイオーベックス株式会社

コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松木伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 室坂浩一

TEL 0776-36-5800

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,821	14.0	557	△18.1	905	△5.2	562	△19.3
26年3月期第2四半期	10,365	△2.2	680	△17.9	955	△4.5	697	3.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 443百万円 (△63.2%) 26年3月期第2四半期 1,204百万円 (121.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8.73	8.73
26年3月期第2四半期	10.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,813	12,747	53.3
26年3月期	23,179	12,323	53.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,691百万円 26年3月期 12,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	13.5	1,200	△13.9	1,700	△9.8	1,250	△6.2	19.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	68,362,587 株	26年3月期	68,362,587 株
27年3月期2Q	3,904,339 株	26年3月期	3,841,648 株
27年3月期2Q	64,473,064 株	26年3月期2Q	64,532,734 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による需要の反動減の長期化や輸出の伸び悩みに加え、円安の継続による原材料・エネルギー価格の高止まり並びに海外景気の回復遅れなどが懸念され、依然、先行きは不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期の業況は、染色加工事業、繊維販売事業、その他の事業、全てのセグメントで増収となったものの、製造コスト上昇の影響が大きく、営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は11,821百万円と前年同期比1,455百万円(14.0%)の増収となり、営業利益は557百万円と前年同期比123百万円(△18.1%)の減益、経常利益は905百万円と前年同期比50百万円(△5.2%)の減益、四半期純利益は、562百万円と前年同期比134百万円(△19.3%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、ユニフォーム、婦人衣料用途等が引き続き堅調に推移し、増収となりました。利益面では、製造原価の削減に引き続き努めたものの、原材料・エネルギー費等加工コストの上昇を吸収できず、減益となりました。

当事業の売上高は、6,219百万円と前年同期比398百万円(6.8%)の増収となり、営業利益は204百万円と前年同期比61百万円(△23.0%)の減益となりました。

(繊維販売事業)

当事業では、テキスタイル事業は、主力のユニフォーム用途、スポーツ用途の拡販に注力するほか、資材用途等の開拓に取り組みました。アパレル事業は、製造コストの上昇に対応するため、生産拠点の多様化を進めると共に、ODM機能を活用した新規顧客の開拓に努めました。また、テキスタイル事業とアパレル事業の連携により、自社素材を活用した一貫加工製品の拡大にも注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、縫製品の中国国内での販路開拓に継続して取り組みました。

当事業の売上高は、3,118百万円と前年同期比58百万円(1.9%)の増収となり、営業利益は225百万円と前年同期比84百万円(△27.2%)の減益となりました。

(その他の事業)

電子機器事業は、FA制御関連、制御機器関連とも堅調に推移しました。水産資材事業は、中層浮魚礁の拡販に向け、沖縄県での営業活動を推進しました。織布事業は、市況の回復により、海外向け糸加工が堅調でした。建設不動産事業は、受注した大口物件の施工に注力しました。複合部材事業は、国内のみならず海外市場での販売促進活動に取り組み、的を絞った営業展開により、商品訴求力の強化に努めました。縫製事業は、主力のキャリア向けカットソーを中心に受注拡大に努めると共に、新規商流の基盤構築に向けた取り組みを進めました。

その他事業の売上高は、2,483百万円と前年同期比998百万円(67.3%)の増収となり、営業利益は123百万円と前年同期比59百万円(94.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ633百万円増加して23,813百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより619百万円増加して9,980百万円となり、固定資産は、有形固定資産は減少したものの、投資その他の資産の増加により14百万円増加して13,832百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加して11,066百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより336百万円増加して7,124百万円となり、固定負債は、借入金の減少などにより126百万円減少して3,941百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加して12,747百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定の減少などにより121百万円減少したものの、株主資本が529百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.0%から53.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は1,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は89百万円の収入（前年同期は711百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益929百万円や減価償却費301百万円がある一方で、売上債権の増加582百万円やたな卸資産の増加512百万円があったことによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は79百万円の支出（前年同期は175百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は405百万円の支出（前年同期は244百万円の支出）となりました。主な要因は、借入金の圧縮や配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が164百万円減少し、利益剰余金が106百万円増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,150,246	1,737,153
受取手形及び売掛金	4,049,444	4,630,313
商品及び製品	982,844	1,193,173
仕掛品	506,325	832,223
原材料及び貯蔵品	346,274	355,476
その他	1,359,672	1,265,996
貸倒引当金	△33,077	△33,547
流動資産合計	9,361,729	9,980,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,952,961	2,886,291
機械装置及び運搬具(純額)	1,162,930	1,025,314
土地	2,755,193	2,750,470
リース資産(純額)	69,126	51,773
建設仮勘定	609	—
その他(純額)	48,543	46,794
有形固定資産合計	6,989,364	6,760,644
無形固定資産		
のれん	45,538	40,984
その他	113,937	107,446
無形固定資産合計	159,475	148,430
投資その他の資産		
出資金	3,981,719	4,074,200
その他	2,688,798	2,851,693
貸倒引当金	△1,289	△2,079
投資その他の資産合計	6,669,227	6,923,814
固定資産合計	13,818,068	13,832,889
資産合計	23,179,798	23,813,679

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,317,018	3,675,194
短期借入金	1,839,976	1,773,282
未払法人税等	418,965	190,968
賞与引当金	466,414	475,814
その他	745,777	1,009,147
流動負債合計	6,788,152	7,124,407
固定負債		
長期借入金	2,639,353	2,445,618
退職給付に係る負債	864,402	692,746
資産除去債務	106,154	106,752
その他	458,215	696,741
固定負債合計	4,068,125	3,941,858
負債合計	10,856,277	11,066,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	5,224,895	5,765,404
自己株式	△799,069	△810,282
株主資本合計	11,118,233	11,647,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	479,809	555,980
繰延ヘッジ損益	2,954	12,289
為替換算調整勘定	826,500	592,390
退職給付に係る調整累計額	△143,134	△116,331
その他の包括利益累計額合計	1,166,130	1,044,328
新株予約権	—	14,076
少数株主持分	39,156	41,480
純資産合計	12,323,520	12,747,413
負債純資産合計	23,179,798	23,813,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,365,819	11,821,694
売上原価	8,730,715	10,230,607
売上総利益	1,635,103	1,591,086
販売費及び一般管理費	954,157	1,033,287
営業利益	680,946	557,799
営業外収益		
受取利息	1,127	3,916
受取配当金	27,088	26,308
持分法による投資利益	270,235	316,261
その他	22,901	42,267
営業外収益合計	321,352	388,755
営業外費用		
支払利息	39,504	33,765
その他	7,471	7,559
営業外費用合計	46,976	41,324
経常利益	955,322	905,230
特別利益		
固定資産売却益	15	5,393
投資有価証券売却益	700	—
助成金収入	21,075	374
補助金収入	—	20,000
特別利益合計	21,792	25,768
特別損失		
固定資産除却損	1	386
その他	—	750
特別損失合計	1	1,136
税金等調整前四半期純利益	977,112	929,862
法人税、住民税及び事業税	282,063	192,992
法人税等調整額	△3,927	171,612
法人税等合計	278,136	364,604
少数株主損益調整前四半期純利益	698,976	565,258
少数株主利益	1,270	2,314
四半期純利益	697,706	562,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	698,976	565,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,293	76,179
繰延ヘッジ損益	△3,561	9,334
為替換算調整勘定	5,763	△13,328
退職給付に係る調整額	—	26,802
持分法適用会社に対する持分相当額	463,866	△220,781
その他の包括利益合計	505,362	△121,792
四半期包括利益	1,204,339	443,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,203,057	441,141
少数株主に係る四半期包括利益	1,281	2,324

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	977,112	929,862
減価償却費	327,172	301,976
のれん償却額	—	4,553
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36	1,259
受取利息及び受取配当金	△28,215	△30,225
支払利息	39,504	33,765
為替差損益 (△は益)	3,762	2,315
持分法による投資損益 (△は益)	△270,235	△316,261
有形固定資産売却損益 (△は益)	△15	△5,393
売上債権の増減額 (△は増加)	△234,399	△582,897
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△414,351	△512,858
仕入債務の増減額 (△は減少)	159,683	359,162
その他	393,090	310,812
小計	953,146	496,070
利息及び配当金の受取額	28,212	30,225
利息の支払額	△39,710	△34,100
法人税等の支払額	△230,646	△402,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	711,001	89,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△156,324	△101,308
無形固定資産の取得による支出	△2,600	—
有形固定資産の売却による収入	15	9,845
投資有価証券の取得による支出	△18,958	△13,841
投資有価証券の売却による収入	1,427	10,000
その他	997	16,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,442	△79,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△13,000	△3,000
長期借入れによる収入	850,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△936,747	△1,007,429
自己株式の取得による支出	△95	△95
配当金の支払額	△127,269	△126,672
その他	△17,683	△18,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,796	△405,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,332	△2,880
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296,096	△397,670
現金及び現金同等物の期首残高	1,577,523	2,009,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,873,619	1,611,380

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,821,355	3,059,522	8,880,877	1,484,941	10,365,819	—	10,365,819
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,639	9,724	27,363	301,733	329,097	△329,097	—
計	5,838,995	3,069,246	8,908,241	1,786,675	10,694,916	△329,097	10,365,819
セグメント利益	265,912	309,385	575,297	63,450	638,748	42,198	680,946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額42,198千円は、セグメント間取引消去2,706千円、各報告セグメントに配分していない全社費用39,491千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,219,665	3,118,273	9,337,938	2,483,755	11,821,694	—	11,821,694
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,218	5,812	14,031	256,894	270,926	△270,926	—
計	6,227,884	3,124,086	9,351,970	2,740,650	12,092,621	△270,926	11,821,694
セグメント利益	204,724	225,087	429,812	123,316	553,129	4,669	557,799

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメント利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社共通費の配賦方法を変更しています。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「染色加工事業」で5,505千円増加し、「繊維販売事業」で136千円減少し、「その他事業」で82千円減少しています。